



シニアサポート倶楽部 ねこの手妹尾

インタビュー 代表者：森本美智子

妹尾学区情報	世帯数	4,129 世帯	人口	9,090 人	高齢化率	30.8%
--------	-----	----------	----	---------	------	-------

■活動のきっかけ

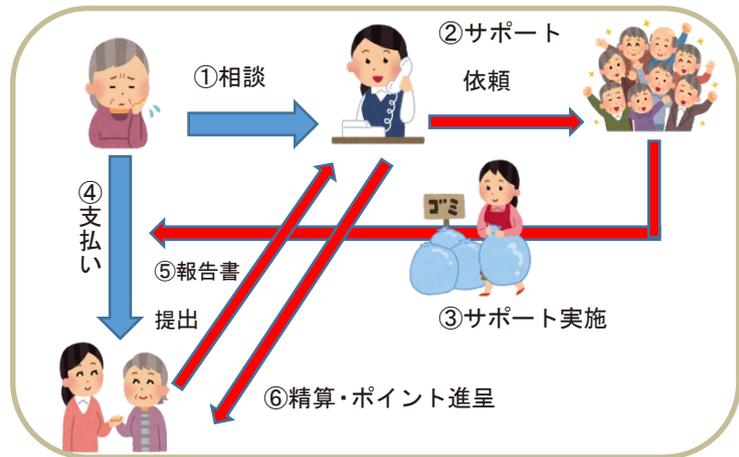
- ・代表自身が身内の介護を経験したことにより高齢者に寄り添う暮らしに関心を抱き、地域のシニア世代の方々の日々の暮らしのちょっとした「困った!」や「不便だわ!」と感じる部分を改善に導くお手伝いがしたいと考えました。
- ・介護保険では対応が難しいサービスや介護認定を受けていない元気な高齢者の日常をサポートできるサービスを展開していければと、学区の小地域ケア会議で提案し、賛同した地域の有志が集まり、生活支援の企画を開始しました。
- ・平成30年に準備委員会を立ち上げて話し合いを重ね、岡山市の「地域の未来づくり推進事業補助金」を活用し、令和元年10月1日より事務所を設立。ボランティアスタッフを募り、活動を開始しました。



■活動内容

- ・妹尾学区に住む概ね75歳以上のひとり暮らし、または家族の支援が困難な環境で生活をしている方を対象に、低額で生活支援のサービスを実施しています。
- ・電話で相談・依頼を受け、日程の調整をし、ボランティア登録スタッフが活動を行います。
- ・主な活動として、買い物や通院に同行するお出かけサポート、ゴミ出しや家の片付けなどの生活サポートを行っています。
- ・活動に応じてボランティアスタッフにポイント

が貯まり、換金できるシステムになっています。



10/1 OPEN シニアサポート倶楽部 **ねこの手妹尾**

シニア世代の日常の困りごとを支援する倶楽部です。

- ゴミ出し 500円/1ヶ月
- 電球取り換え 300円/1回
- お出かけ同行 100円/10分
- 家の片付け 1000円/1時間
- 庭のお掃除 1000円/1時間
- 話し相手 100円/10分

☆ご利用対象☆
妹尾学区にお住まいの概ね75歳以上のひとり暮らしまたは
家族の支援が困難な環境で生活している方

暮らしの小さなお手伝いで住みよい町づくりを目指します。ぜひご相談ください。

シニアサポート倶楽部 **ねこの手妹尾**

〒101-8288 岡山県岡山市南区妹尾344 (妹尾科立んへの向かい側)

☎ **080-4552-6650**

■活動の効果

- ・様々な困りごとを手伝い、解消することで、具体的な支援に結び付いています。
- ・リピーターや定期サポートの依頼も増え、高齢者に喜んでもらっています。
- ・依頼された時間に連絡がつかず、心配になり訪問すると、体調が悪くなっていたというケースもありました。ひとり暮らしの高齢者の見守りの効果もあったと思われます。

※実績数（依頼の種類）など

令和2年4月1日～令和3年3月31日

依頼件数 733件

内訳：ゴミ出し25件・お出かけ同行543件・話し相手3件・家の片づけ34件・庭掃除18件・網戸障子の張り替え他110件



■工夫していること

- ・ボランティアスタッフもほとんどが中高年のため、作業時間はできるだけ1～2時間で収まるよう、人員の配置を工夫しています。
- ・サポート中は他者に不審を抱かれないよう、名札の着用や移動車にはサポート中の表示をしています。

■参加対象者

- ・利用者
妹尾学区在住のおおむね75歳以上のひとり暮らし、または家族の支援が困難な環境で生活している方
- ・活動ボランティア
原則的には妹尾学区の方を募集していますが、近隣学区等からの活動希望者も受け付けています。

■場所・開催時間

- ・場所

岡山市南区妹尾1749

- ・受付時間
月～金 10時～15時
- ・活動日
希望日時に沿って要相談

■ひと

- ・スタッフ数
40名
- ・利用登録者数
129名

■運営費

【収入】

- ・地域の未来づくり推進事業補助金
- ・事業収入

■ネットワーク

連合町内会／婦人会／岡山市社会福祉協議会

■苦労した、苦労していること

ボランティアスタッフにまんべんなく活動を依頼したいと思っておりますが、それぞれの得手不得手や活動可能日時を考慮すると偏りが生じてしまい、今後の課題となっております。



■今後の抱負

活動を知らない人もいるので、妹尾学区全体に声かけをしていくことで、困っている人にもっと広く知ってもらいたいです。

■今後取り組もうとする方に伝えたいこと

活動を始める前にアンケート調査など行い、地域にどのような要望があるのかきちんと把握した上で活動内容を組み立てることが大事だと思います。

他の地域で取り組まれている活動内容を知ることや活動者同士が交流を図ることで、現在の活動をさらに充実させていくことも大事だと思います。